

ねらい

5歳児:広い小学校の運動場で、1年生と一緒に冬の自然の中で遊ぶことを通して、1年生になる期待や憧れの気持ちを持つ。

1年生:風を利用した遊びや、季節の行事(節分)で遊びに使うものを作って楽しむ。
冬の自然を体で感じながら、風の様子が変わることなどに気づくことができる。

幼児期との
つながり

・冬の自然と関わる活動を通して、寒さや風の強さ、雪や氷などの季節や自然現象を感じたり、味わったりしている。

・四季折々の季節の行事は、経験してきており、節分の行事は、豆まきや鬼(邪気)を追い払うなどの意味を知ったり、活動を楽しんだりしてきている。

本時のポイント

○風を利用した遊びや遊びに使うものを作って楽しむ。

○おめんづくりを通して、冬の行事に親しむ。

○保育園の友達と一緒に遊び、親しみをもって活動したり、関わりを楽しんだりする。

実践内容

風と遊ぼう!!

保育園の園庭に比べて、
とっても広いな!
学校は広いから、たくさん
走れるし、うれしいな!



転ばないようにゆっくり
走ってあげよう。
走ると風を集めることが
できて面白いね。

もうすぐ節分だね

1年生ははみ出てないね。
色もきれいに塗れていて
かっこいいな。
お母さんに見せたいな。



こうやって塗ってみようか。
じょうずに塗れたね。
おうちで被ってみてね。

交流を振り返って

生活科「ふゆと ともだち」の活動を通して、冬の自然と関わる楽しさを味わったり、遊びを通して身近な自然の特徴を見つけたりすることができました。5歳児さんは、小学校の広い校庭を走り回れることに喜びを感じ、とても楽しみにしていたようです。当日はとても寒い日でしたが「冬の風は冷たいね。」「風をたくさん集めると袋がいっぱいになっておもしろいね。」と季節の違いや風を集めるという遊びを体いっぱい感じ、お互い楽しむことができました。そのあと、節分に向けてのおめんづくりをし「小学校は鬼来るの?」「保育園は鬼が来るよ。」など話をしながら、一緒に色塗りを楽しむ姿が見られました。交流を通して、対話をしながら主体的に取り組む姿が見られ、3月に行われる次の交流への意欲につながることができました。